

『二期一会』の精神を大切に

ぶつだん工房雅(名古屋)

ぶつだん工房雅(名古屋)は仏壇仏具の販売店として多くの人に親しまれてきた。創業は昭和十三年頃、初代が仏具の木地職人として石浜仏具店を設立。その後、平成十四年に新店舗を建設したことに伴い、屋号を「ぶつだん工房雅」とした。初代が大切にしていた『二期一会』の精神を受け継ぎ、現在に至っている。

二代目オーナーの石浜一美氏と長男で後継者の石浜雅仁氏の二人が中心になって店舗の経営を行っている。石浜雅仁氏は栃木県の大学(建築学科)、卒業後、家業を継ぐために修行を考え、曹洞宗大本山の永平寺で一年間の安居(修行)を体験した。想像以上に厳しかったが、雅仁氏の糧となり、日々の仕事に活かされている。雅仁氏は僧侶の資格を持ち、店舗の仕事と併行して、僧侶としての活動も続けている。

同店は在家用仏壇・仏具の販売をはじめ、寺院用仏具の製作も行い、業務は広範に及ぶ、店舗は三階建て一階が都市型仏壇、小物仏具、線香、ローソク、念珠を展示、一階奥は工房。二階は唐木仏壇、三階は金仏壇(名古屋型仏壇が中心)や仏壇の木地サンプルも展示。オーダーメイドの特注・別注仏壇も手がけており、仏壇の修理・洗濯も行っている。

そのほか、地元の小学生を招き、仏壇の歴史や製造工程などの体験学習を行うなど地域社会とのつながりを大切にしている。その様子は地元のマスメディア(テレビ・新聞)に報道されることもしばしば。毎月一回、同店二階のショールームでは写経会を実施、写経が終わると、お茶とお菓子を出して、雅仁氏がプチ法話を行う。雅仁氏は「写経をして皆さんとお話するのが、楽しみなんです」と話す。自社ホームページでは情報発信を行い、各地から問い合わせがある。

◎ぶつだん工房雅 愛知県名古屋市中南区三吉町五一四一 TEL〇五二(六一)二七九一 FAX〇五二(六一)二八三七



店舗外観(ぶつだん工房雅)



左から石浜雅仁氏(三代目) 石浜一美氏(二代目)(ぶつだん工房雅)



仏壇の木地見本・二階ショールーム
(ぶつだん工房雅)



一階ショールームは都市型仏壇や
仏具小物類を展示(ぶつだん工房雅)